

2009年8月24日

株式会社シムドライブ

PRESS RELEASE

～ より良い地球環境を次世代に承継するために ～ 慶應義塾大学発のベンチャー企業として、産学連携により インホイールモーター型の電気自動車の普及を目指す 「株式会社シムドライブ」を設立します

この度、電気自動車普及により、より良い地球環境を次世代に承継することを目指す、「株式会社シムドライブ」(代表取締役社長:清水 浩、本社:東京都千代田区、以下:シムドライブ社)を設立します。シムドライブ社は、慶應義塾大学(塾長:清家篤、所在地:東京都港区)発のベンチャー企業として、慶應義塾大学環境情報学部教授の清水浩を中心に、株式会社ベネッセコーポレーション代表取締役会長兼CEO福武 総一郎、株式会社ガリバーインターナショナル、株式会社ナノオプトニクス・エナジー、株式会社ベネッセコーポレーション、丸紅株式会社等が出資し産学連携にて設立するもので、2009年8月20日に設立登記申請を行いました。

シムドライブ社は、清水浩が開発したインホイールモーター型の電気自動車に関する技術に基づいた「SIM-Drive (SHIMIZU In wheel Motor-Drive) ※注1」(以下、シムドライブ)を搭載した電気自動車の国内ならびに海外への普及を行う会社です。シムドライブ社が自ら電気自動車の製造や販売を行うのではなく、電気自動車や電気自動車の部品の製造を行うことを希望する、さまざまな企業と広く提携し、シムドライブの技術を提供していきます。

設立後はまず、シムドライブを活用した電気自動車の可能性に共感いただける企業の参画をさらに募り、シムドライブ搭載の電気自動車の普及方法の検討と具体化を行います。シムドライブ社は、ポスト京都議定書がスタートする2013年に、シムドライブ搭載の電気自動車が、提携企業により量産されている状態を目指します。

シムドライブ社はシムドライブ搭載の電気自動車が広く普及することで、より良い地球環境を次世代に承継することを実現し、社会に貢献したいと考えています。

1. 設立の経緯

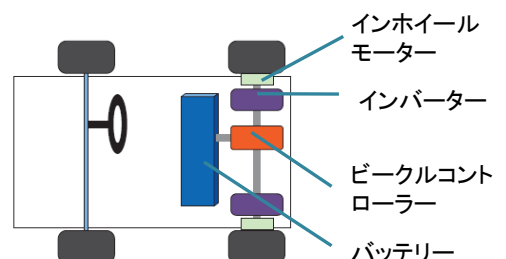
環境問題への対応のため、電気自動車の普及は、世界的な課題となっています。シムドライブ搭載の電気自動車は、エネルギー消費がガソリン自動車の4分の1であり、かつ加速感、広さ、乗り心地はガソリン車を凌ぐものです。また、構造が簡単で部品点数が少ないので大量生産をすればより安価に提供することが可能になります。

「より良い地球環境を次世代に承継する」という理念に共感し、清水浩が30年にわたり研究を続けてきた、このシムドライブの今後の可能性に大きな期待と信頼を寄せるメンバーが集まり、今回の会社設立に至りました。

※ SIM-Drive(シムドライブ)とは

シムドライブ社が提供するノウハウにより開発された電気自動車を構成するコンポーネント及び総称をSIM-Driveと呼ぶ。インホイールモーター、インバーター、電池から成る駆動系と、これを搭載するプラットフォームから成る。

これらの技術は新車あるいは中古車の既存自動車を改造するモデルやグランドアップモデル(新規製作する車)に適用可能。シムドライブ社が認証したコンポーネントを用いた電気自動車を「by SIM-Drive」または「Platform by SIM-Drive」と表現する。



2.株式会社シムドライブの概要

■商号：株式会社SIM-Drive(株式会社シムドライブ)

■設立：2009年8月

■所在地：東京都千代田区神田錦町3-14-3

■資本金：4400万円

■役員：取締役会長 福武 總一郎

(株式会社ベネッセコーポレーション代表取締役会長兼CEO)

代表取締役社長 清水 浩(慶應義塾大学 環境情報学部 教授)

取締役 羽鳥 兼市(株式会社ガリバーインターナショナル代表取締役会長)

取締役 藤原 洋(株式会社ナノオプトニクス・エナジー代表取締役社長)

取締役 福武 英明(株式会社efu 取締役)

監査役 木村忠昭(株式会社アドライト代表)

以上、取締役5名 監査役1名

■顧問：出井 伸之 (クオンタムリープ株式会社代表取締役)

村井 純 (慶應義塾大学環境情報学部教授)

高野 正 (慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授)※技術顧問

■株主構成：福武總一郎

株式会社クリーンクラブ

株式会社ガリバーインターナショナル

株式会社ナノオプトニクス・エナジー

株式会社ベネッセコーポレーション

清水浩

丸紅株式会社

慶應義塾大学

■事業内容

- (1) 電気自動車の研究及び開発
- (2) 電気自動車用インホイールモーターその他電気自動車用部品の研究及び開発
- (3) 電気自動車の開発に関するコンサルティング
- (4) 電気自動車普及に関する教育サービス
- (5) 電気自動車に関する規格策定
- (6) 電気自動車基盤製造サポート事業

3.事業展開

今後以下の3つのフェイズでの事業展開を行っていくことを予定しています。

■第1フェイズ:

シムドライブを搭載した電気自動車の普及の方法について検討、具体化を行う。

※第2フェイズ以降は、現状の展開イメージです。第1フェイズの検討により変更の可能性もあります。

■第2フェイズ

・標準化事業および先行開発車共同開発事業

現状のシムドライブに含まれる特許、技術、開発実績を基盤に、参画企業(自動車メーカー、モーター製造会社、プラットフォームの製造会社)を募り、シムドライブ標準化および先行開発車の共同研究を行う。

■第3フェイズ:

・製造サポート事業:

提携企業が、シムドライブを搭載した車両を生産するにあたり総合的なサポートを行う。

・教育事業:

電気自動車の開発者、技術者の人材育成を行う。

■2013年目標:シムドライブ搭載の電気自動車が提携企業により量産される状態を目指す。

<お問い合わせ先>

株式会社シムドライブ 担当: 渡邊

■電話: 03-3261-6881

■メール contact@sim-drive.com

■URL: <http://www.sim-drive.com/>

<参考資料>取締役プロフィール

◆清水 浩 (しみず ひろし)

慶應義塾大学環境情報学部教授



1947年宮城県生まれ。1975年東北大学工学部博士課程修了。

1976年国立環境研究所（旧国立公害研究所）入所。1987年国立環境研究所地域環境研究グループ総合研究官。1997年に退任して、慶應義塾大学環境情報学部教授となり、環境問題の解析と対策技術についての研究（電気自動車開発、エネルギーシステム開発）に従事。以後、30年間で8台の試作車開発に携わる日本の電気自動車開発の第一人者。

2004年からは電気自動車の市販に向けた研究を行う「Eliica」プロジェクトに技術統括リーダーとして参加している。新世代の駆動方式として期待を集める「インホイールモーター」を使用した実験車両「Eliica」は、同年に電気自動車として最高速度の370km/hを記録した。

2009年からは神奈川県と共同で電気バスの開発も手掛ける。

著書に「温暖化防止のために 一科学者からアル・ゴア氏への提言」など。

◆福武 総一郎 (ふくたけ そういちろう)

株式会社ベネッセコーポレーション代表取締役会長 兼 CEO
ベネッセアートサイト直島代表
財団法人直島福武美術館財団理事長



1945年岡山県出身。1969年早稲田大学工学部卒業。

1973年株式会社福武書店（現株式会社ベネッセコーポレーション）入社。1986年同社代表取締役社長などを経て、2007年より現職。

1987年より直島プロジェクトを開始。香川県の直島を、自然とアートで活性化する取り組みを実行。

1998年「メセナ国際賞」受賞、2000年「第13回岩切章太郎賞」受賞、2004年ベネッセアートサイト直島に地中美術館オープン、2006年直島での継続的なアート活動に対して「メセナ大賞」受賞、同年香川県文化功労者表彰、2008年芸術選奨受賞など受賞。

「あるものを生かしてないものを創る」「経済は文化のしもべ」「公益資本主義」をモットーとする。

<参考資料>取締役プロフィール

◆羽鳥 兼市(はとり けんいち)

株式会社ガリバーインターナショナル 代表取締役会長



1940年福島県生まれ。

1959年福島県立須賀川高校卒業。

1976年東京マイカー販売株式会社を設立し、中古車ビジネスを開始。

1994年株式会社ガリバーインターナショナル設立し、買い取った車を展示場を持たずにオークションに売却する「買い取り」に主眼を置いたビジネスモデルを生み出した。

1998年 通信衛星(現在はインターネット)を活用した画像による車販売システム「ドルフィンネット」の運営を開始し、同年に株式を店頭公開。2000年には当時史上最短で東証2部上場、2003年東証1部に指定。

独自の買取・画像販売モデルが常識の枠を超えた発想によるものであると評価され、2006年に「ポーター賞」を受賞。2008年より現職。

◆藤原 洋(ふじわら ひろし)

株式会社ナノオプトニクス・エナジー代表取締役社長
株式会社インターネット総合研究所代表取締役所長



1954年福岡県生まれ。1977年京都大学理学部卒業。

東京大学工学博士(電子情報工学)。

日本アイ・ビー・エム、日立エンジニアリング、アスキーを経て、動画像符号化方式の研究・標準化活動を行いMPEGの創設に参画後、1996年12月、インターネット技術に関する研究開発企業、株式会社インターネット総合研究所設立。代表取締役所長に就任、現在に至る。2005年環境エネルギーベンチャーの株式会社ナノオプトニクス・エナジー設立、同代表取締役社長。東京大学、京都大学、国立天文台、名古屋大学、中部大学等との産学連携により「超高精度高速研削」、「直流高温超伝導送電」等の最先鋭技術を研究開発。

現在、(財)インターネット協会 副理事長、東京大学大学院数理科学研究科客員教授、青山学院大学国際マネジメント研究科特任教授、SBI大学院大学副学長。

『ネットワークの覇者』、『科学技術と企業家の精神』など著書多数。

<参考資料>技術顧問プロフィール

◆高野正(たかの ただし)

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授



1957年福岡県生まれ。

1980年九州工業大学工学部電子工学科卒業。

1980年ヤマハ発動機入社。1983年、ダイレクトドライブ方式ロボット用モーターの研究開発以降、直接駆動方式希土類永久磁石式三相交流同期型電動機の研究開発に従事。その後、2005年までに「ソーラーボート」、「一人乗り用電気自動車」、「電気スクーター」、「モノレール」、「電動ハイブリッド自動車」の駆動装置の研究開発に従事。

2005年10月より、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科にて電気自動車用ダイレクトドライブ方式研究開発に従事。現在に至る。電気学会正員。

<参考資料> 出資企業の概要

【株式会社クリーンクラフト】

設 立: 2008年

本 社: 神奈川県藤沢市遠藤4489番10

資 本 金: 3,050万円

事業内容: 電気自動車に関する知的財産の管理

【株式会社ガリバーインターナショナル】

社 名: 株式会社ガリバーインターナショナル

設 立: 1994年10月25日

本 社: 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号

資 本 金: 41億5,700万円(2009年2月28日現在)

事業内容: 自動車の買取・販売事業、その他自動車流通に関わる事業

【株式会社ナノオプトニクス・エナジー】

社 名: 株式会社ナノオプトニクス・エナジー

設 立: 2005年11月18日

本 社: 京都府京都市左京区吉田本町 京都大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー

資 本 金: 3億1,757万5,000円

事業内容: 超精密工作機械・機械加工機・光学機械の製造・販売、
超伝導技術による持続可能エネルギー事業、
天体観測を活用した地球環境保全の研究

【株式会社ベネッセコーポレーション】

社 名: 株式会社ベネッセコーポレーション

設 立: 1955年1月28日

本 社: 岡山県岡山市北区南方 3-7-17

資 本 金: 136億円

事業内容: 「進研ゼミ」を中心とする通信教育事業、「進研模試」などの学校支援事業、
雑誌を中心とする出版事業、介護付き高齢者向けホームの運営を中心とした介護事業、
ベルリッツ インターナショナル社を中心とした語学事業など

<参考資料> 出資企業の概要

【丸紅株式会社】

設 立： 1949年12月1日

本 社： 東京都千代田区大手町1丁目4番2号

資 本 金： 2,626億8千6百万円

事業内容：総合商社。

食料、繊維、資材、紙パルプ、化学品、エネルギー、金属資源、鉄鋼製品、輸送機などの輸出入(外国間取引を含む)・国内取引から、電力・インフラ、プラント・船舶・産業機械、開発建設、金融・物流・情報・環境に関する広範な分野での商品の取り扱いや各種サービスの提供、また事業投資、開発、運営